

令和3年11月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,383	243,708	243,000	243,632	708	76
2 調定水量	m ³	618,646	5,195,449	5,178,000	5,249,228	17,449	△ 53,779
3 調定料金(税抜)	円	166,904,773	1,390,929,277	1,390,000,000	1,405,590,868	929,277	△ 14,661,591
4 口振加入件数	件	25,046	200,945	—	201,040	—	△ 95

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,675	148,866	146,460	146,585	2,406	2,281
6 調定水量	m ³	383,365	3,157,943	3,081,300	3,158,374	76,643	△ 431
7 調定料金(税抜)	円	60,929,336	499,337,299	485,714,000	498,175,025	13,623,299	1,162,274

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,622	—	77,429	△ 807
9 給水件数	件	30,177	—	30,135	42
10 閉栓処理件数	件	191	1,972	1,951	21
11 閉栓処理件数	件	262	1,973	1,961	12
12 給水工事設計審査	件	69	385	443	△ 58
13 給水工事竣工検査	件	50	430	595	△ 165
14 経年メーター交換	件	360	2,770	3,409	△ 639
15 メーター口径変更	件	8	47	39	8
16 督促状発送数	件	1,342	10,689	10,607	82
17 月末停止件数	件	85	—	109	△ 24

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	26	259	260	△ 1
19 排水設備工事完了検査	件	30	218	249	△ 31

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	195,644,802円	87.21%	204,677,964円	86.77%
21 過年度分	4,006,017円	97.93%	4,518,726円	97.63%
22 計	199,650,819円	-	209,196,690円	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	79,100,344円	85.59%	83,619,591円	84.74%
24 過年度分	762,864円	98.68%	884,313円	98.85%
25 計	79,863,208円	-	84,503,904円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	3,751,900円	89.36%	4,776,200円	88.88%
27 過年度分	2,336,000円	12.48%	2,587,900円	21.64%
28 計	6,087,900円	-	7,364,100円	-

特 記 事 項

1. 11月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は183,524千円(税込)で、前月期に比べて3,616千円の減、対前年同月比では8,261千円の減となり、営業収益は210,078千円、営業外収益は事務手数料など5,076千円となりました。特別利益はダム負担金の還付など20千円となりました。当期の営業費用は委託料や修繕費など81,524千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金及び加入金として11,319千円の執行となりました。支出は、工事請負費や職員給与費などを含む事務費として42,404千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は67,022千円(税込)で、前月期に比べて332千円の減、対前年同月比では2,246千円の減となっています。営業収益は67,061千円、営業外収益は負担金など2千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や委託料など73,506千円、特別損失として20千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、企業債として732,200千円の執行となりました。支出は、工事請負費や事務費などの建設改良費10,450千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 水道週間作品コンテスト表彰式が開催されました

第63回水道週間作品コンテスト及び下水道事業キャラクター愛称最優秀作品の表彰式が、11月30日に中田農村環境改善センターで行われました。コンテストには市内小中学校の皆さんから合わせて761点の応募があり、審査の結果31人が受賞しました。特選・入選作品は、日本水道協会、日本水道新聞社主催の水道週間協賛懸賞募集に出品しました。作文中学生の部において鈴木怜奈さん(米山中3年)の作品が厚生労働大臣賞を受賞、伊藤美織さん(米山中3年)の作品が入選に選ばれました。

また、下水道事業キャラクター愛称最優秀作品は、応募総数123件の中から米山町在住の早坂洋美さんが応募した愛称である「水守(みもる)さん」が、最優秀作品に選ばれました。



【作品コンテスト表彰式の様子】



【下水道事業キャラクター】

水守(みもる)さん

(2) 上下水道事業職員研修について

上下水道部安全衛生委員会の事業として、消防署津山出張所から講師を迎え、11月26日(木)にAED(自動体外式除細動器)を使った「救命講習会」を開催しました。基本的な心肺蘇生法(胸骨圧迫)や、AEDの操作方法を実技講習を中心に救命手当について学びました。



【職員研修の様子】

令和3年11月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	795,072	6,647,402	6,329,720	6,608,195	317,682	39,207
総配水量	746,906	6,207,601	5,893,610	6,135,866	313,991	71,735
1 有効水量	657,703	5,551,095	5,584,600	5,726,697	△ 33,505	△ 175,602
(1) 有収水量	622,825	5,230,929	5,213,200	5,287,729	17,729	△ 56,800
(2) 無収水量	34,878	320,166	371,400	438,968	△ 51,234	△ 118,802
2 無効水量	89,203	656,506	309,010	409,169	347,496	247,337
(1) 漏水量	88,858	653,380	304,000	406,506	349,380	246,874
(2) その他無効水量	345	3,126	5,010	2,663	△ 1,884	463
3 有収率	83.39%	84.27%	88.46%	86.18%	-4.19%	-1.91%

※ 当月期の最大配水量は、29日（月）に記録した【26,231m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	20,460	1	19,626	0	0	834	95.9%
浄水施設整備事業	6	57,420	4	43,685	1	3,828	9,907	82.7%
配給水施設整備事業	54	1,163,640	34	756,904	12	89,674	317,062	72.8%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 令和3年度許可工作物の点検について

11月24日（水）に許可工作物（下り松取水塔）の点検を、河川管理者（国交省）と許可工作物の設置者である登米市とで合同の点検を実施しました。これは設置された許可工作物が、許可後においても適切な維持管理が行われているか、年1回点検を行うものです。

点検は、北上川下流河川事務所の職員3名と水道施設課の職員2名で施設本体の損傷状況など14項目について点検を行いました。

点検の結果、異常ありませんでした。今後も施設を良好な状態に保つよう維持管理を適切に行います。

【許可工作物とは】 河川法第26条第1項の許可を受けて設置された工作物のこと。



【下り松取水塔付近点検状況】

2 漏水事故について

11月20日（土）登米町寺池銀山地区において、水道管（硬質塩化ビニル管：口径100mm）の漏水事故が発生しました。この管路は平成8年に布設したもので25年が経過したものです。原因は管底の岩状突起物による管体継手箇所の亀裂漏水で、断水（畜産施設2件）により修理を行いました。



【漏水箇所修理状況】

11月期の漏水修理件数は22件で、漏水調査で発見した漏水は11件でした。引き続き漏水の早期発見、有収率の向上を図ります。

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	17	60,727
	付属施設	0	0,000
	給水装置	66	51,781
	計	113	112,511

【漏水調査結果：11月】

※参考：漏水削減効果（金額換算）
約742,572円/日当たり
算定：R2年度給水原価 275.01円/累計漏水量 112,511m³/h
112,511m³/h×24h×275.01円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	52,421	444,816	444,772	44	3処理場
米谷・錦織処理区	11,400	95,716	100,274	△ 4,558	
豊里処理区	29,733	251,400	243,562	7,838	
津山処理区	11,288	97,700	100,936	△ 3,236	
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	11,942	103,370	105,189	△ 1,819	
農業集落排水	99,797	899,292	928,224	△ 28,933	24処理場
迫地区	9,776	80,732	73,809	6,923	
東和地区	2,787	24,832	24,310	522	
中田地区	25,641	224,355	249,579	△ 25,225	
豊里地区	1,882	16,124	16,815	△ 691	
米山地区	39,806	391,473	402,965	△ 11,493	
南方地区	19,905	161,776	160,746	1,030	R3.4.1時点
浄化槽（特・個排）	40,581	336,239	325,974	10,265	1,934基
合計	459,955	3,957,237	3,929,336	27,901	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	554,183	13	370,382	0	13,912	169,889	69.3%
ポンプ施設整備事業	1	16,390	1	15,950	0	0	440	97.3%
処理施設整備事業	88	414,549	38	122,802	37	55,694	236,053	43.1%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計を記載。件数には合冊契約している箇所を含む。

特記事項

1 下水汚泥の放射性物質測定の実施

本年8月に実施した1回目に引続き11月25日・26日に2回目の放射性物質の測定を実施しました。前回と同様に、公共下水道処理施設4か所および農業集落排水処理施設21か所から採取した汚泥の放射性物質測定を行いました。今回の測定結果においても、1回目と同様に28か所の処理施設の汚泥中から放射性物質は検出されませんでした。



【舗装本復旧の完了】

2 石越町芦倉地区外の舗装復旧の完了

令和3年11月30日に石越町芦倉地区外の舗装復旧が完了しました。この工事は、過年度に管渠の埋設を実施し復旧の状態だった、登米町・豊里町・石越町地区内の道路舗装の本復旧を行ったものです。この工事においては、各地区の合計で施工延長L=153.0m、舗装面積A=2,033m²の復旧を実施しました。

○浄化槽整備事業受付状況
(11月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	79	1